

山行報告

1. 安達太良・鳥川 (1975.)

コースタイム

橋島(6:45) ~~ニ本谷~~ 二本谷(7:25, 7:30) — 岳(7:50) — 鳥川橋通
過(11:47) — 湯戸井通過(12:00) — 又巻了(14:15) — 峠の辻
(14:20) — くらがね小屋(14:40, 15:00) — 見晴台(15:30) —
奥岳(16:10, 16:40) — ~~二本谷~~ 二本谷(17:15, 18:26) ~~橋島~~ 橋島(18:55)

参加者

し面和文、渡辺京子

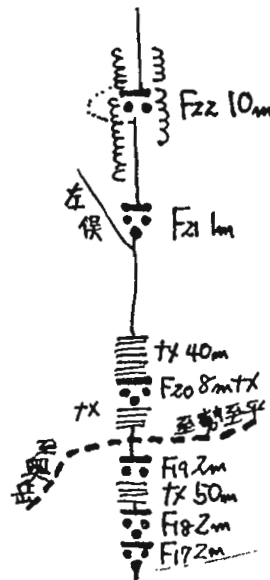
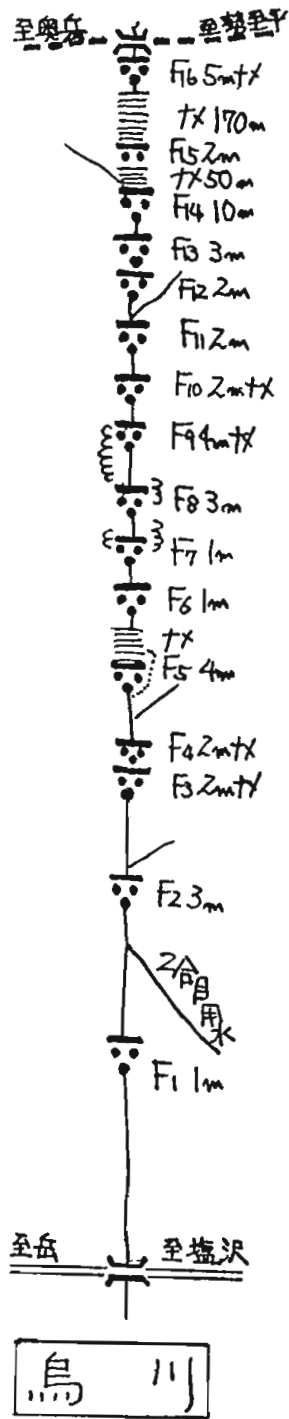
行脚記録

橋島6:45 発の汽車、10分遅れて発車。汽車の中では久美さん、保原のゴロツペの皆さんといっしょだった。

岳から湯沢温泉の方へ約1時間鳥川につく、立派なコンクリートの永久橋がかけてある。遊歩開始8時50分。初めはなだらかな変化のない沢だ。F4あたりから沢らしくなってくる。F5のナメは石が亀の子みたいに敷きつめられていてきれい。F8の左岸はカベになっている。F12右岸に5m上流から湧き水あり、すぐ下にこわれたやぐらがある。F15.10mの滝はおもしろい流れ方をしている。それに岩がねんばり岩でできていて平な岩をいく枚も積みかさねたみたいだ、岩そのものも安定している。F16.2mの手前のナメの続いている明るいところで昼食をとる。

湯の川を過ぎる30分ほどで沢が分かれる。右に入る。始めヤブこぎながら沢をつめる。やがて右岸に大きなカベがあらわれ、少しすぎると左岸にも現われる。沢そのものが明るくなり、すごいゴースト状になって急に高度をかせく。ここを登りつめるとF24.10mの滝が現われる。この滝の自然は無理なので左岸をまこうとしたが、オーバーハングになっていてゲイルなしでは無理である。(残置ハーケンあり)右岸を登る、このカベもけっこり登りごたえがある。

ここを登るとあとはなだらかなが、源流らしくなる。ほぼ源流まで廻行して峰の辻へ上る。沢終了 14時15分 峰の辻ではゴロツペの皆さんと会う。ゴロツペは奥岳へ、私たちはくろがね小屋を経て、奥岳へ向った (渡辺京子)



F5 4m

(作図: 画和文)